

国労東日本運転協議会

安全は輸送業務の最大の使命である

牽

引

発行責任者 木立 幸夫

編集責任者 後藤 征二

2010年11月8日

第79号

# 運転協議会第22回定期委員会を開催！



国労東日本運転協議会は、第22回定期委員会を10月14日午後、交通ビル3Fの会議室にて開催しました。

定期委員会は参加対象者全員の参加を確認し、後藤事務長の司会で始まり、委員会の成立宣言を受け、座長に東京・落合委員を選出し、以降の進行を委ねました。

冒頭、東日本運転協議会を代表して木立議長から、組織としての最大の課題であるJR不採用事件の和解についてと検修の全面的な外注化施策問題、そして組織の強化・拡大と分会運動の活性化について触れた挨拶をしました。



来賓として、東日本本部より矢部法対部長・武笠調査部長が出席し、代表して矢部法対部長から以下の挨拶がされました。

JR不採用問題では、不採用事件は和解したがJR関連に雇用を希望している三百余名の人たちの雇用問題が残っている。本部以下雇用を確保する闘いを全力をあげて行こう。組織の強化・拡大では、今年の大会以降も3名の拡大があった。この間、設備メンテの見直し交渉を行ってきた。2001年に大幅な外注化施策が導入され、輸送障害に関わる重大事故や傷害事故が多発し、会社側は見直しが迫られ交渉を行ってきたが、今後も安全第一を掲げ会社側を迫っていく。検修の全面的な外注化提案では、偽装請負という問題が付きまとうことになる。この問題を各地方で学習し、内容を深めた議論をしていながら、検証を積み重ねていくことが大切である事など、以上の挨拶を受けました。

続いて、先般行われた国労運転協議会全国連絡会主催の総会・交流会で新しく事務長となった安濃事務長(東京・田町運転区)から挨拶を受けました。日頃の運動で連携を取り合っている工作協議会からは、連帯をうたった力強いメッセージが届けられ、読み上げられました。

委員会は議題に入り活動方針(案)を一括して木立議長から提案され、休憩を挟んで、質疑の場と移りました。

質疑では、今年の東日本定期大会で議論となった総合労働協約締結問題や懸案事項として対処してきた遠距離通勤問題が出され、本部より現在の取組みなど報告いただきました。JR発足後、差別の温床となってきた遠距離通勤問題は当人の生活スタ



イルを変えさせ、大変な労苦を強いることになっていますが、解決の糸口が見え始めた地方や一人も解決できていない地方もあるなど温度差が出てきています。

各地方からの主な意見・報告では、

検修の全面的な外注化施策提案では

・検修の全面的な外注化提案が止まったままになっているが今後の進み方は。

・平成13年に締結した「グループと一体となった業務体制」の検証をしている。現在の問題として、委託先に作業責任者を置き、偽装請負解消を狙っているが、夜間等検修業務を知らない人が責任者となり、指示が伝わらず結果直接の指示となっている。今後の課題である。

・構内では、外注化された業務に出向（若年出向）という実態がある。



運転・車掌で学習会を開催してきた。反響もよく、これから12月ダイヤ改正・冬期対策と続く。他労組から要求を統一して出そうとの提案があり、その方向で動いている。

分会活動の強化として、安全衛生委員会を活用した安全・仕事総点検運動が提起され、取組んでいる。国労は、委員にはなれないが会社にもものを申していく運動を通じて安全問題に取り組んでいく。

今年3月のダイヤ改正交渉では、乗務員勤務プロジェクトが提起した「食う・寝る・トイレ」要求を基本要件として出し、交渉してきた。議論が出来るようにはなってきた。

要員が不足が逼迫してきている。1編成を1日かけて交番検査してきたが、要員不足から分割しての検査となった。運用面からみれば二度手間になり非効率この上ない。外注化を待っての考え方なのか、要員の補充は無い。

「動力車操縦者運転免許の取消し等の基準」制定では、運転士の間では不安視する声が多い。会社は、説明会を開いてきたが質問に答えられない場面がでるなど職場が混乱した。

指令の不適切な指示で、運転に混乱が生じる場面が多々ある。指令の資格は免許制を導入するのも一考かと思う。空のほうでは指令業務の重要性から国家資格になっている。

総合労働協約問題は中味が未だよくわからないこともあるので、討議資料を作ってほしい。また討議時間を保証してもらいたい。

最後に、出された質問に対して東日本本部からの答弁として  
総合労働協約締結問題では、正常な労使関係を構築するという位置付けから、協約の締結をする方向で議論している。職場討議資料のことは、今後参考資料として何らかの資料を出す方向でいる。

検修外注化問題では、少数組合が先行して交渉を進めることへの難しさもある。  
エルダー制度の改正があるのではとの事では、2013年の年金支給年齢の繰り下げ問題がある。新しい人事・賃金制度が出てくる可能性もあるが、いつかは未だわからない。

答弁を経て、活動方針（案）と決算・予算（案）を一括して承認していただきました。

続いて役員改選と運転協・全国連絡会委員の選任に移りました。  
木立議長から、提案としてこの間の経緯を考え、全員留任とし引き続き現在の体制維持することへの承認と全国連絡会委員の報告を行い、全員で承認の確認を行いました。

最後に、「委員会宣言」を読み上げての提案を採択し、木立議長の団結ガンパロー！三唱で終了しました。



**役員体制は全員留任となりました今年一年間団結して頑張りましょう！**

東日本運転協議会 2010年度役員体制				
役職	氏名	職場	地本	職名
議長	木立 幸夫	鶴見線営業所	東京	車両技術係
副議長	須田 政博	秋田車両センター	秋田	車両技術係
副議長	佐藤 英雄	一ノ関運輸区	盛岡	車両技術係
副議長	三塚 昇	小牛田運輸区	仙台	車両係
副議長	石津 淳二	新津運輸区	新潟	車両技術主任
副議長	清水 輝夫	高崎運輸区	高崎	主任運転士
副議長	菊地 輝雄	勝田車両センター	水戸	事務係
副議長	宇井 太	幕張車両センター	千葉	車両技術係
副議長	安濃 敏雄	田町運輸区	東京	運転士
副議長	坂本 保	松本車両センター	長野	車両技術係
事務長	後藤 征二	中野電車区	東京	運転士
会計監査	緑川 浩	八王子運輸区	東京	運転士

定期委員会参加の皆さん、時間オーバーするほどの活発な議論、ありがとうございました。

お疲れ様でした。



**国労東日本運転協議会**